

は し が き

本館においては、さきに『早稲田大学図書館文書目録』第一集として、「方広寺関係文書」「成内家文書」「鍋嶋主水家文書」の三つの近世家文書の目録を公刊し、これらの文書の利用を促してきた。

今回はそれに続く第二集として、新たに整理を完了した「外記平田家文書」「小嶋家文書」の目録を紹介することにした。

前者の外記平田家は、詳しくはその解題で述べているように、朝廷内で書記局を世襲した由緒ある家柄であって、その記録内容は職掌に関するものが多い。従来、この種の内容をもつものの公開は遅れており、今後に益するところが多大であろうと思われる。

一方の小嶋家は、岐阜県下の典型的な庄屋であり、分量は少ないが、内容が豊富なので、これまた利用価値が大きいと思われる。

本館では、まだこの種のもので、未整理のために利用に供せないものも多いが、順次、整理の終了しだい、こうした形で紹介してゆく方針である。先に公刊した第一集と併せて、広く関係各位のご利用を期待したい。

昭和54年5月

図書館長 古川晴風